

コガネムシ類成虫の発生消長

福島県果樹試験場病理昆虫部
平成13年度試験研究成績書

1 部門名

果樹－モモ－病害虫防除
分類コード04－02－23000000

2 担当者

荒川昭弘・岡崎一博・阿部憲義

3 要旨

- (1) 近年、モモ園でのコガネムシ類成虫による果実の食害が増加傾向にあるため、現地ほ場でのコガネムシ類成虫の発生消長を調査した。
調査ほ場は、伊達郡桑折町伊達崎地区にあり、2000年の収穫果実に約5%の食害があり、収穫作業中にもドウガネブイブイ、ヒメコガネ成虫が被害果実上で確認された。
- (2) 調査ほ場(約10a)内およびそれより約50m離れた河川敷内にニトルアー(日東電工製)4種(ブイブイ用、ヒメコガネ用、セマダラコガネ用、マメコガネ用)を設置し、5月24日から9月20日までほぼ7日ごとに誘殺数を調査した。また、果樹試験場内にはヒメコガネ用トラップを設置して同様に発生消長を調査した。
- (3) 加害種のドウガネブイブイ、ヒメコガネの誘殺が長期間にわたっており、とくに堤防芝地の付近に設置したトラップで誘殺数が多かった。場内では誘殺数が少なかったがやはり長期にわたってヒメコガネの誘殺が見られた。
- (4) また、マメコガネ用トラップにはハナムグリ類も誘殺された。
- (5) 従来のコガネムシ類による果実の食害は7月上旬頃に限られていたが、本ほ場周辺では7月から9月上旬まで被害が認められており、今回のトラップ調査の結果からも成虫の飛来時期が長期にわたることが確認できた。

4 その他の資料等

なし